

## Intensive English Camp (training)

県内のALTを招聘し、数人の班に対して1人という体制で英語漬けになります。



## 英語による科学研究発表会

県内外から多数の学校を迎えて、英語での発表会を主催しています。



## 海外研修

海外の大学や研究機関等での研修や交流を通して異文化を理解し、科学を接点に英語によるコミュニケーション力を高めます。また、海外の文化や先端科学技術に触れることを通して、国際的な視野を養います。



## 進路状況

現役国公立大学合格状況

SSH		5回生	4回生	3回生	2回生	1回生	-	-	-
卒業年度		R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
理数科	合格者数	29	19	30	24	22	28	22	21
	合格率	72.5%	47.5%	75.0%	60.0%	55.0%	70.0%	55.0%	52.5%
普通科理系	合格者数	54	52	47	44	49	48	42	42
	合格率	41.2%	41.6%	35.6%	37.0%	38.3%	35.2%	32.3%	32.3%

主な進学先【最近5年】 現役+浪人（内浪人）

東京工業 2(1), 東北 7(1), 北海道 1(0), 弘前[医・医] 1(0), 大阪 1(1), 名古屋 1(1)  
筑波 13(1), 茨城 46(2), 埼玉 9(0), 群馬 5(0), 茨城県立医療 6(0)  
その他：医学部医学科 2(2) など

## 理数科のSSH

### 基礎実験講座

第1学年で理数科に決定した生徒が、スムーズに課題研究に入れるように、基本的な実験操作や測定値の処理について学びます。



### サイエンスラボ

大学の研究室に訪問し、実験したり設備を見学したりさせていただきます。



茨城県立緑岡高等学校



# スーパーサイエンスハイスクール



平成25年度（2013年度）から指定を受けた文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業は、平成30年度（2018年度）より第2期5年間の再指定を受けました。SSHの指定を受けた学校では、科学技術系人材の育成のため、各学校で作成した計画に基づき、独自のカリキュラムによる授業や、大学・研究機関などとの連携、課題研究など様々な取組を行います。

本校では、第1期の成果及び課題を踏まえ、「論理的思考で主体的に探究できるサイエンスエキスパートと科学的素養を備えたサイエンスサポーター」の育成を目指し、全生徒に対して“科学的素養”を育成する取組を行います。さらに、それを基に理数科においては“確かな専門性”を育成する取組と“国際性”を育成する取組を行います。



# 論理的思考で主体的に探究できるサイエンスエキスパートと科学的素養を備えたサイエンスサポーターの育成

## SSH（スーパーサイエンスハイスクール）とは…

文部科学省では、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援しています。現在、指定校は全国で217校であり、茨城県内は7校です。本校は県内のSSH指定校のハブ校として、いばらきサイエンスコンソーシアムの中心となっています。

### 科学的素養

## SP科学

再生医療分野  
サイエンスツアー  
最先端科学講演会  
探究基礎

### 確かな専門性

## SE課題研究

### 国際性

海外研修  
サイエンスイングリッシュ  
英語による科学研究発表会

## SP探究

第2学年普通科で探究活動を1単位実施

## サイエンスエキスパート

## サイエンスサポーター

### ▲本校のSSH（SAKIGAKE PROJECT II）概念図

※サイエンスエキスパート：国際的に活躍できる科学系人材

※サイエンスサポーター：文系・理系の区別なく設定した課題を主体的に探究するなどの専門教育の要素を取り入れ、将来的に科学の発展を多面的に支える人材

## 科学系部活動

科学研究部、生物部、地学部



## 普通科のSSH：サイエンスサポーターの育成を目指します。

### SP科学（第1学年）

様々な科学的内容を通して、ディスカッション力、課題の見つけ方、探究の手法・進め方等を身に付けることで“科学的素養”を培います。



## 理数科のSSH：サイエンスエキスパートの育成を目指します。

### 理数科の特徴

- “理数科”として、また“SSHの主対象”として様々な事業に取り組みます。
- “確かな専門性”や“国際性”を育成するため、学校設定教科「SSH」にSS系科目を多く開設しています。2年では、理科3科目を履修します。  
「SS数学β・γ」「SS物理β・γ」「SS生物β・γ」「SS化学」「SS数理情報」「サイエンスイングリッシュ」
- 難関理工系、医学系進学に向けたハイレベルな授業を展開しています。

### SP探究（第2学年普通科）

「SP科学」の学習を踏まえ、研究課題を明確にして主体的・協働的に探究（調査研究）を行い、得られた結果を根拠に基づいて考察し、最終的に結論を導き出す活動を通して、科学的素養の育成を図ります。人文科学、社会科学、自然科学、健康科学等幅広い分野について探究活動を行います。



### SE課題研究

少人数の研究グループに分かれて、自分たちでテーマを決めて探究します。「SP科学」で培った科学的素養に基づいて、2年間に渡って研究を進めていきます。この課題研究では、大学生や大学院生によるチューター制を導入し、また理数科内で学年間交流を実施することで多面的・多角的な視点から探究に取り組み、“確かな専門性”の育成を図ります。



### その他の学校設定科目

教科・科目を横断的に学習したり、学際的な内容や発展的な内容を扱ったりする学校設定科目を第1～3学年にわたって設定。

「SS数学α」「SS物理α」「SS生物α」「Science」「SS情報」「SS化学α・β」